

平成三十年 城下町「からつ」俳句コンクール作品選

選者 日本伝統俳句協会評議員
唐津観光俳句会会長 田邊虹志 選

持選一句

武士の声なき城の夏木立

佐賀県 原口政子

入選三句

やぶ椿薄紅色にうつむけり

佐賀県 野寄英子

航跡の島へ一筋薫風裡

茨城県 早田維紀子

吹き抜くる風に加はる法師蟬

福岡県 平井裕子

佳作十六句

初日影浴びて清しき唐津城

福岡県 永富佑子

桜まう城下の町を見下ろして

神奈川県 門脇茉那

麗らかや高取邸の能舞台

福岡県 太田禎子

遠望の虹の松原春うらら

山口県 益田道春

満開の花に包まる天守閣

北海道 山手恭子

五月晴れ唐津の海に続く松

山口県 池元良江

再会は梅雨の晴れ間の唐津城

大分県 山田あつみ

新緑に一際映える唐津城

北海道 中島勢治

玄海を見下ろす初夏の唐津城

埼玉県 玉石遊子

花は葉に城石垣のいわれ聞く

佐賀県 辻 洋子

白砂の浜辺に寄する卯浪かな

佐賀県 西久保きくの

大山蓮華一輪で足る庵かな

佐賀県 矢野京子

立秋のからつの城と青き海

大分県 江藤知子

夏暖簾美しき女将の佐賀訛り

大分県 小野智輔

涼やかな潮風香る唐津城

福岡県 亦賀理奈

白南風の鷲の目となる天守閣

東京都 榎並伸一